

学習に用いる言葉

三年生までに学んだ言葉

あらすじ

物語を短くまとめたもの。登場人物がしたことや、出来事を、話の順に短くまとめてつなげると、あらすじになる。

物語を人にしようかいつるときには、あらすじを伝えようと、その物語を全部読まなくても、だいたいどのような内容かが分かる。

引用

他の人の言葉や、本などに書かれていることを、自分の文章の中で使うこと。

- かぎ(「」)を付けるなどして、他と区別する。
- 元の言葉や文を、そのまま書き出す。
- どこから引用したのかをしめす。

他の人の考えを引用することで、自分の話や文章の内容をおぎなうことができる。

しつもん

分からないことや知りたいこと、たしかめたいことなどを、人にきくこと。しつもんをするときは、相手の話をよく聞いて、関係のあることをたずねるようにする。

話し合うときには、おたがいにしつもんをし合うことで、他の人の考えがよく分かったり、みんなの考えが整理されたりする。

出典

引用した言葉が書かれていた本や資料などのこと。本の場合は、①作者名、②題名、③出版社(発行所)名、④発行年、⑤書かれていたページをしめす。

出典をしめしておくことで、読んだ人が、同じ本や資料などをさがして読むことができる。

題名

物語や文章に付けられた名前のこと。

題名には、書いた人が作品や文章にこめた思いが表れていることがある。

会話文・地の文

かぎ(「」)でしめしている、登場人物の言葉を会話文といい、他のところを地の文という。物語では、主に地の文によって話が進む。

会話文では、登場人物の考えや思いがそのまま表れていることが多い。

地の文では、登場人物の様子や行動を表しているところに、その登場人物のせいかくや気持ちが表示されていることがある。

語り手

物語の地の文を語る人。人物の行動や気持ち、場面の様子などを語りながら、話を進めていく。

語り手がどのような立場で、どの登場人物によりそっているかをたしかめると、その物語の世界をいっそう深く味わうことができる。

段落

文章を組み立てている、事ごとこの内容のまとめ。初めを一字下げて表す。

読むときは、それぞれの段落で何が書かれているのかを考えると、全体の内容がとらえやすい。書くときは、内容ごとに段落を分けると、読み手に分かりやすい。

問い(問いの文)

説明する文章などで、これから何を書くかを、読み手に問いかける形で表した文のこと。

問いの文を見つけると、文章全体で書かれていることを見通すことができる。

登場人物(人物)

物語の中に出てくる人のこと。物語の中で、人のように動いたり、考えたりする生き物や物も、登場人物(人物)という。

登場人物が言ったことや、したことを思い浮かべながら読むと、物語の内容がよく分かる。

キャッチコピー

相手を引きつけるように工夫された、短い言葉。

ポスターや広告など、多くの人が見るものに、目を引くように使われている。

組み立て

文章や話が、どのようなまとまりと順序でできているかということ。「初め」「中」「終わり」という三つのまとまりで考えると、分かりやすくなる人が多い。

読むときは、それぞれのまとまりが何について書かれているかを考えながら読むと、文章全体の内容がよく分かる。話したり書いたりするときは、伝えたいことをまとまりごとに整理して、組み立てを考えると、聞く人や読む人に伝わりやすくなる。

場面

物語の中にあるいくつかのまとまりのこと。時間や場所、登場人物のしたことなどで、ひとまとまりになっていることが多い。

登場人物の会話や動き、そのときの音や色などを表す言葉に気をつけると、場面の様子をくわしくそうぞうできる。

筆者

文章を書いた人のこと。物語や詩などを作った人である「作者」と区別して、説明する文章を書いた人を筆者ということがある。

筆者がどんな人かをたしかめたり、筆者が考えたことに気をつけて読んだりすると、その文章が何について説明しているのがよく分かる。

メモ

聞いたことや考えたことなどを後でたしかめられるように書きとめること。また、書きとめたものも、メモという。

さくいん

その本の中にある言葉や物事などのページにあるかを、五十音順などでしめしてあるもの。

さくいんを使うと、知りたい事がら書いているページをかんたんにさがすことができる。

作者

物語や詩などを作った人のこと。同じ作者の作品をいくつも読むと、その作者の作品のみりよくがよく分かるようになる。

司会

話し合いなどを、目的や話題に合わせて進行すること。また、それを行う人。

全員が、自分が司会だったらどう進めるかを考えながら参加すると、話し合いが進みやすくなる。

大事なことを短い言葉でメモしておき、整理したりまとめたりすると、後で伝えたいことを正しく伝えることができる。

訳者

外国語の文章を、日本語の文章に直す人のこと。

同じ作品でも、訳者によって、使われる言葉や表現がことなる。

連

一行空きなどを入れて区切られた、詩の中のそれぞれのまとまり。

一連ごとに様子をそうぞうしたり、連どうして使われている言葉を探らべたりすると、詩の全体がとらえやすい。

話題

話したり話し合ったりするときの材料や、中心となる事がらのこと。

話題から外れないように話すと、聞く人も、何を伝えたいかがよく分かる。